

西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

November

No. 35

2017



平成 29 年度西播磨地域夢会議
(平成 29 年 10 月 9 日開催)

委員長メッセージ	1
西播磨地域夢会議まとめ	1~2
推進チーム紹介	3~5
ビジョン委員会のHP・Facebook 紹介	5
イベント情報 (高校生防災サミット)	5
第 16 回出る杭大会まとめ	6
第 9 期西播磨地域ビジョン委員募集について・編集後記	7



発行 西播磨地域ビジョン委員会



第8期西播磨地域ビジョン委員会
委員長 香山 美穂



委員長メッセージ

平成 29 年度の「西播磨地域夢会議」では「西はりま未来カフェ in 太子～まあるくなって話そう、未来の西播磨～」と題して、昨年行い好評でした「ワールドカフェ方式」により「兵庫 2030 年の展望」について 19 のテーブルに分かれて意見交換をいたしました。

金澤副知事が開会挨拶の中で、科学技術の進歩による生活の変化を 13 年前と比較しながら話され、大きな科学技術の進歩に驚かされると同時に、これから 13 年後の 2030 年に向けた兵庫の姿を住民が真剣に考えていかななくてはならないことを改めて気づかせていただきました。

兵庫大学 副学長 田端先生のコーディネートにより 20 分×3 ラウンドで話し合いが行われました。田端先生からの具体的な質問により、それぞれのテーブルではビジョン委員はもとより、高校生の方々からも、西播磨の魅力をいかに活用していくべきか等の多くの意見が出て、積極的に発表する頼もしい姿に西播磨の明るい未来が感じられました。

西播磨各地域の雇用、人口減少等、簡単には解決出来ない問題ではありますが、世代、地域の枠を超えて意見を交わし合う場というのはとても貴重な機会だと思います。

この夢会議を通じて西播磨地域がますます元気になれるように、これからもこのような機会、交流を大切にしていきたいと思えます。

今回の夢会議に協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



平成 29 年度 西播磨地域夢会議 を開催しました！



西はりま未来カフェ in 太子 ～ まあるくなって話そう、未来の西播磨 ～

日時：平成 29 年 10 月 9 日(月・祝) 13:00～16:30

場所：太子町立文化会館 あすかホール

《 第 1 部 》

☆オープニング

・開会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 委員長

香山 美穂

兵庫県副知事

金澤 和夫

・「兵庫 2030 年の展望」について

兵庫県企画県民部ビジョン局長

坂本 哲也

☆ワールドカフェ

コーディネーター 兵庫大学副学長

田端 和彦

《 第 2 部 》

☆発表・講評

・アトラクション

県立太子高等学校 ダンス部

・来賓紹介

・各グループ発表

・コメント 西播磨県民局長 東元 良宏

・閉会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 副委員長

田野本満男



西播磨地域夢会議 まとめ

副委員長 田野本 満男

平成 29 年度西播磨地域夢会議を 10 月 9 日（月）太子町立文化会館（あすかホール）において開催しました。3連休の最終日、秋祭りのシーズンにも関わらずビジョン委員を始め、地域の皆さん、高校生を含め 156 名の皆さんに参加頂きました。

第 1 部では金澤副知事の挨拶に続き、「兵庫 2030 年の展望」について坂本ビジョン局長より、3つの基本方針と 10 項目の「兵庫の 2030 年の姿」をコンパクトに説明頂きました。全体像を理解した上で①安全・安心②チャレンジ③交流の3つのテーマで 19 グループに分かれ、昨年度と同じ「ワールドカフェ」による討議を行いました。

コーディネーターは、当委員会の田端専門委員にお願いし、

- ①「西播磨の魅力、西播磨で生活する資源」は何か？
 - ②「西播磨に人を呼び込む為に必要な方法」は何か？
 - ③「西播磨で生活し子供を育て家族を守る為の方法」は何か？
- の3つの質問を切り口に議論を進めました。

ワールドカフェは、通常のワークショップと異なり、“ラウンドごとにメンバーが他のテーブルに移動し意見交換する”という対話交流がありますので、意見を記入する円形の「えんたくん」の効果もあり、会場は文字通り「まあるくなって話そう、未来の西播磨」状態で議論も盛り上がりました。



休憩をはさんで第2部では、アトラクションとして、地元太子高校ダンス部の皆さんによるエネルギッシュなダンス・パフォーマンスを披露して頂きました。

続いて、来賓としてご臨席頂いた西播磨地域の県議会議員、各市町の代表者をご紹介させて頂いた後、第1部で行った「ワールドカフェ」の討議内容についてグループ別に発表して頂きました。

発表は高校生が積極的に担当され、総括的には「都市部にはない、豊かな自然、安全安心な食材、歴史、祭り、地域の絆など、西播磨の魅力」をSNSなど活用して情報発信し、都市部や他地域から人を呼び込む。「空き家」の積極的な活用方法を検討する等の意見が出されました。全体の発表が終わった後、谷川専門委員、山本専門委員からのコメント、最後に東元県民局長から総括コメントを頂き閉会しました。



今回の夢会議は高校生の参加比率も高く、建設的な意見が伺えました。これからの「未来」を背負う新世代の夢の実現に向けて世代を超えた良い意見交換の場になったのではないかと思います。本日の夢会議の討議内容が少しでも「兵庫 2030 年の展望」に反映されれば幸いです。



推進チーム紹介

健やか子ども応援チーム 広報部員 井上 鈴子

私達のチームでは、幼稚園や保育所で、論語、茶道、花、絵本の読み聞かせ、昔遊びなどを行っています。

子ども達は、当初は出来なかった正座も出来るようになり、論語も見違えるように、元気に素読出来るようになってきています。

最近、社会では生きる目的がわからない若者が多くなっているようです。私達は論語の説く、先祖とのつながりや、命の大切さを伝え、目的をもって好きなことを貫く大切さを教えています。

また、茶道や花の美にふれたり、昔遊びや絵本を通して友達を思いやる心を育みながら、知らず知らずに情操を豊かに、心身の健康へと願う活動の一員として、努力していきたいと思えます。



出る杭応援隊 チームリーダー 谷本 卓

ビジョン委員会のシンボルプロジェクトを推進するために、出る杭応援隊としては、1年間、元気プロジェクトチームに参加し、4月の第16回出る杭大会に運営スタッフとして参加しました。

大会では、多数のブース展示や、多くのステージパフォーマンスが繰り広げられ、途中の雨にも関わらず、大勢の来場者が訪れました。そして井戸知事をはじめとして多くの来賓の皆様から祝辞もいただき、大いに盛り上がりを見せました。私自身もステージでのタイムキーパーという大役を仰せつかり、無事に務める事もできました。ビジョン委員も皆それぞれの役割を分担して、大会に貢献できたと思えます。

来年以降も、新たな参加者が現れるように、今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。



生活安全推進チーム チームリーダー 田野本 満男

私達は、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」と「高校生の考える地域防災・減災活動」の2つのテーマを掲げ活動しています。「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」の活動は、7月におこなった太子町阿曾地区の取材を最後に、西播磨地域市町の代表的な団体やグループの取材を終えました。取材にご協力頂きました各地区の皆さん、お世話になりました。取材でお聞きした「地域の支えあい活動」は冊子に取り纏めて発行します。

「高校生の考える地域防災・減災活動」では、「西播磨地域の高校生防災サミット」を12月10日(日)10時から西播磨文化会館で開催すべく準備中です。現在、9高校62名の生徒が参加希望されています。当日は、各高校の防災活動状況報告、ワークショップなどを通じて高校生の地域防災・減災活動を話し合う場をサポートします。



森からの命をいただく！チーム

チームリーダー 伊藤 一郎



チームのメンバーがコースを考え、各市町の自然観察ウォーキングを行いました。5月に、たかのす東小学校にて山崎植物同好会指導員の方を講師として呼びし、一泊研修会を行いました。お茶についての講義や季節と共に変わる鷹ノ巣の植物紹介があり、研修2日目には、早朝より植物観察をしました。6月には赤穂市雄鷹山(標高 253 m)、7月は佐用町高倉山(標高 357m)に登りました。8月は上郡町、9月は相生市、10月は太子町とたつの市にそれぞれ出向き、11月は宍粟市です。

継続事業では、環境学習講座「森林は生きている」を7月に宍粟市立都多小学校にて行いました。また、リフレッシュ瀬戸内事業の相生市金が崎遊歩道清掃に参加しました。当日は、宍粟市森林セラピー応援隊による宣伝も行い、セラピーの効果について少しでも広めることが出来たと思います。

若者視点からの食材推進！チーム

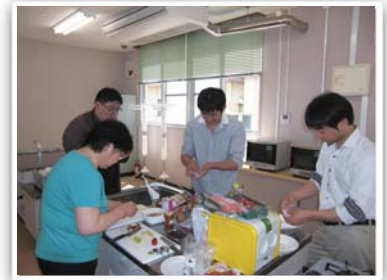
広報部員 前平 航司

和食の原点である「お米」をテーマに、西播磨の食材を活用して、おにぎり、炊き込みご飯、モチとワッフルを組み合わせたモッフルなど色々なものを試作してきました。最近では、米粉を使って大福を作り、中身に西播磨各地の果物を入れて「フルーツ大福」を作っています。

取り組みの中で、西播磨は実にフルーツが豊富にとれる地域だということに改めて実感しました。メロン、みかん、りんご、ブルーベリー、フルーツトマト、イチジク、モモ・・・本当に西播磨はフルーツの宝庫です。

どこでいつ何が食べられて、どんな人がどんな想いで栽培しているのか、そんなマップがあれば良いなあ・・・ということで現在「西播磨フルーツマップ」を作成中です。

一体、どんなマップが出来上がるのでしょうか。皆様、お楽しみに★



西播磨ええところ発見！チーム

広報部員 永富 元



今年度、北前船の寄港地である坂越浦(赤穂市)での取組を調査している過程で、川での舟運は如何なのかとの意見があり、西播磨を縦断する、揖保川、千種川の双方に目を向けたところ、昔の写真等から「高瀬舟」の面影が見て取れました。

そこで、江戸時代の「高瀬舟」の発着場の中心は何処なのかと辿って行き、宍粟市役所東隣の揖保川両岸に築かれた石積みの舟着き場跡「出石」や舟問屋の建物跡等、揖保川傍の「ええところ」を発見しました。

これらを、私達のみでなく、一般の皆様のご参加も得て、広く情報発信しようと、「揖保川の水運と高瀬舟」と題し、宍粟市教育委員会教育次長 田路正幸氏にお願いして、講演会及び現地探訪を開催しました。

今後も西播磨の埋もれた資源の発掘に努めて行きたいと思っております。

西播磨交流たのしみ発見隊

チームリーダー 栗蔭 久美

◆活動内容：前年度は、西播磨、中播磨、鳥取県で活発に活動している地域に行ってきました。そして、今年は少し方向を変えて、私達のチームの中でも活発に活動をしているメンバーがいるので、チームで共有し、体験もしました。

◆活動をとおして、思ったことは・・・

- ・チーム間交流を楽しめた。
 - ・昔からある物をあらためて発見できた。
 - ・西播磨は特に目立ったものはないが、地域に残る物を次世代に残そうという強い思いを強く感じた。
- まだまだ、いいところがたくさんあります。
ゆっくり、のんびり西播磨を楽しもう～♪

- 5月 たつの市（メンバーの苺畑で苺狩り体験）
- 6月 宍粟市（一宮町千町岩塊流視察・在賀豆腐製造見学）
- 7月 佐用町（兵庫県立大学西はりま天文台望遠鏡体験・ひまわり畑見学）
- 8月 赤穂市（桃井ミュージアム・赤穂緞通、雲火焼見学）
- 9月 たつの市（メンバーの西播磨への移住の話とミニコンサート鑑賞）



西播磨地域ビジョン委員会の

活動を紹介しています！



西播磨地域ビジョン委員会

検索



兵庫県 HP



ネット de 応援し隊

検索



Facebook



西播磨 jimdo

検索



Jimdo



※上記の検索ワードを入力し、検索していただくか、携帯のQRコードリーダーで読み込んでいただくとそれぞれのページにつながります。



兵庫県西播磨県民局管内の高校生による

高校生防災サミット開催！



傍聴無料(申込不要)

日時 平成29年12月10日(日)

10:00 ~ 15:00 まで

10:00 開会(各高校の防災体験報告、被災地支援活動報告)

12:00 昼食 非常食(体験試食会)

13:00 ワークショップ~発表~サミット宣言

場所 西播磨文化会館(たつの市新宮町宮内 458-7)

主催 西播磨地域ビジョン委員会・西播磨県民局

西播磨地域ビジョン委員会では、管内の高校生による「高校生防災サミット」を開催し、「若者の考える防災」「将来あるべき防災」について、意見交換を行い「地域の防災・減災」に対する考え方を、共有することにより、防災意識の活性化を図ります。

是非、ご参加ください！

第16回出る杭大会 まとめ

4月29日、西播磨元気プロジェクト主催「第16回出る杭大会」が播磨科学公園都市芝生広場で開催され、約18,000人の来場者がありました。

今年の参加はブース展示 45 団体、ステージ 21 団体。淡路、伊丹など他の県民局管内からの参加もあり、出る杭大会の確実な広がりを感じています。



途中、雨やひょうが飛び跳ねる天候に見舞われましたが、昼過ぎ井戸知事がお見えになる頃にはすっかり回復し、「私が来ると天気が良くなる。」とご満悦の様子でした。

平成30年4月には第17回出る杭大会を迎えます。出る杭大会を盛り上げていただくと共に、地域づくり団体の皆様の活力で西播磨を元気にしてくださいようご協力をよろしく申し上げます。

西播磨元気プロジェクト代表
広報部員 森 正枝

賞	受賞団体(所在地)
出る杭大賞	ファッションショー実行委員会(たつの市)／赤穂防災士の会(赤穂市)／たつの赤とんぼ米研究会(たつの市)
西播磨ビジョン賞	県立太子高等学校 Jコーラス部(太子町)／comodo姫(姫路市)
夢づくり賞	NPO法人 ママの働き方応援隊 たつの校(たつの市)／ジャコウアゲハが飛び交う街姫路連絡協議会(姫路市)
でるたん賞	西播磨地域ビジョン委員会 森からの命をいただく！チーム(上郡町)／赤松地区むらづくり推進委員会「赤松手づくり鎧、兜の会」(上郡町)
パフォーマンス賞	宍粟和太鼓アーツ倶楽部「弾紅」(宍粟市)／たつのよさこい「播州わらべ」(たつの市)／横内・上横内 獅子連中(たつの市)
県民局特別表彰	NPO法人 あいあいひろば(相生市)／上・茶の湯生き活きクラブ(相生市)／NPO法人 たつの・赤トンボを増やそう会(たつの市)／谷 村おこしの会(宍粟市)／ゆう太34会(太子町)／上郡町いずみ会(上郡町)／兵庫 県立大学附属中学校・附属高等学校(上郡町)／県立飾磨工業高等学校 多部制 機械工学系(姫路市)



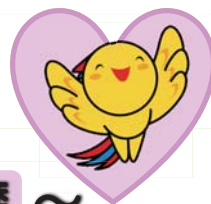
☆西播磨元気プロジェクトでは、出る杭大会で大賞を受賞した団体や地域で様々な活動をしている団体などが集まり、それぞれの活動内容や楽しさ・苦労などを話し合う「出る杭交流会」も開催しています。

西播磨元気プロジェクトの活動に興味を持たれた方は下記までご連絡ください。

西播磨県民局 県民活動支援課 TEL：0791-58-2128

第9期西播磨地域ビジョン委員の

募集について



～ 光と水と緑でつなぐ～ 元気・西播磨 ～

子育て・ボランティア・地域活動・仕事などの経験や知識を活かして、西播磨県民局と共に、西播磨地域をより良くするような活動をしていただける「第9期西播磨地域ビジョン委員」を募集する予定です。

☆任 期 2年間（平成30年4月1日～平成32年3月31日 予定）

☆主な役割 地域ビジョンの普及・啓発、地域夢会議の開催など

☆処 遇 活動はボランティアとなり無報酬となります。
ボランティア活動保険は県の負担で加入します。



丹波地域ビジョン委員会との交流会（篠山市にて）

※ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

事務局 西播磨県民局 県民交流室
県民活動支援課 ビジョン班
TEL 0791-58-2128
FAX 0791-58-0523



森林セラピー応援隊として活動（智頭町にて）

編集後記

今年の夏は猛暑でした。全国各地で豪雨災害があり、西播磨地域でも8年前には佐用豪雨災害がありました。12月には『高校生防災サミット』が開催されますので、是非参加し防災減災の学習をしましょう。

また、郷土の文化人ー地域を支えた先人たちー巡回パネル展が各地（たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町）で開催されており、近代を中心に34名が取り上げられています。初めて知る名前もあり、地域を支えた先人たちの業績に触れ、この地域の魅力を再発見しました。

夢会議では温故知新のごとく先人たちの苦勞に学び、話し合いが行われ、アイデアが生まれたでしょうか。

きらきら通信 35号発行に際し、多くの皆様のご協力に感謝します。

広報部員 水守 美和子

連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
【TEL】0791-58-2128 【FAX】0791-58-0523
https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/wh01_2_000000071.html

